

医療連携法人 羽島市が加入

美濃国リンケージ

松波総合病院(笠松町)などによる地域医療連携推進法人「美濃国地域医療リンケージ」は22日、新たに羽島市が加わったと発表した。病院ごとの役割分担や医薬品の共同購入など、自治体の枠を超えた連携で公立病院の経営改善を図り、地域医療を維持する。

法人は2023年、同病院を運営する社会医療法人

蘇西厚生会と海津市医師会、美濃市が前身の一般社団法人を設立。医師派遣や患者受け入れ、共同での研修開催などを行っていた。

羽島市民病院は24年度の純損益が7億9306万円に上るなど厳しい経営状態が続いており、市が法人に参加を打診した。来年1月から、同市民病院で松波総合病院からの回復期、慢性期の患者を受け入れて病床の活性化を図る。松波総合病院で開かれた記者発表会で、松井聡市長は「市民の命と暮らしを守るため連携を深めたい」とあいさつした。

(安井真由子)